

きっと、あなたも“大切な人”に逢いたくなる――

種まく旅人

～華蓮のかがやき～

食が紡ぎ出す絆、心ゆさぶる感動作

本作のテーマ「加賀れんこん」にちなんだトークを披露!!

平素よりお世話になっております。

3月26日(金)より石川県先行公開がスタートし、4月2日(金)より、絶賛公開中の映画『種まく旅人～華蓮のかがやき～』の公開記念舞台挨拶が4月3日(土)にユナイテッドシネマ豊洲にて行われました。

ご取材にお越し頂けなかった媒体様へ、ぜひオフィシャルレポートにてご掲載頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

■■公開記念舞台挨拶概要■■

■開催日：4月3日(土)

■時間：13:00～13:30(30分) ※上映後舞台挨拶

■登壇者：栗山千明、平岡祐太、井上昌典監督

■会場：ユナイテッド・シネマ豊洲 (東京都江東区豊洲2丁目4-9 アーバンドックららぽーと豊洲 3F)

■MC：伊藤さとり



【オフィシャルレポート】

日本の「食」を支える農業や漁業といった第一次産業を応援するためにスタートした映画『種まく旅人』シリーズ第4作目となる『種まく旅人～華蓮のかがやき～』が4月2日から全国順次公開を迎えた。翌3日には、ユナイテッド・シネマ豊洲にて公開記念舞台挨拶が行われ、栗山千明、平岡祐太、井上昌典監督が参加した。

本作は、石川県金沢市の伝統野菜である加賀れんこんを題材に、後継者不在に悩む農業の現実や、農業で活躍する女性たちを描いたヒューマンストーリー。

シリーズ2作目『種まく旅人～くにうみの郷～』に引き続き、農林水産省で農業の活性化に向けて尽力する主人公・神野恵子を演じた栗山は「2019年秋ごろに撮影した作品ですが、ようやくこうして全国公開を迎えられたと思うと感無量です」と笑顔を見せると、実家のれんこん畑の後継者問題に直面する銀行マン・山田良一役を演じた平岡も「先日、石川県で先行上映がありました、ようやく全国の方々に観ていただけることが嬉しいです」と満面の笑みを浮かべる。

また、良一の恋人・凛を演じた大久保麻梨子は、台湾在住のため舞台挨拶には参加できなかったが、ビデオメッセージで登場。「撮影の合間に食べた加賀れんこんのすりおろし汁がとても美味しかった思い出があります。いま私が住んでいる台湾はもちろん、世界中の皆さんに楽しんでいただける映画だと思います」と作品をアピール。メガホンをとった井上監督は「農業がテーマということで重い作品になってしまいがちですが、軽やかに楽しくなってもらえるように作りました」と作品に込めた思いを吐露していた。

大自然のなか、和気あいあいと進んだ撮影。栗山は「いままでたくさんれんこんは食べていましたが、加賀れんこんは初めていただきました。普通のれんこんも美味しいですが、加賀れんこんはシャキシャキしてとても魅力的です」と語ると、平岡も「れんこんとしいたけの包みあげという料理にソースを垂らすと美味しいんですね」と懐かしそうに話す。

劇中、泥だらけになりながらのれんこん掘りも印象に残るシーン。平岡は「映画を観ても伝わりづらいかもかもしれませんが、畑の下が泥なので、つま先で歩かないとずぶずぶ足が沈んでしまっ大変だったんです」と苦労話をすると、栗山は「私はれんこん掘りが上手な役ではなかったので、助かりました」とおどけた。

これまで何度も共演経験があるという栗山と平岡。栗山は「過去にご一緒しているので、やりやすかった。良一が平岡くんで良かった」と笑顔を見せると、平岡も「20代前半から4、5回ぐらい共演していたので、いろいろ

な思い出話もできて楽しかったです」と充実した撮影だったことを明かす。

そんななか、平岡は劇中登場する学ランシーンについて「僕は（学ランを着るのを）反対したのですが、どうでした？」と尋ねると、井上監督は「大丈夫ですよ」と会場からは相打ちのように拍手が沸き起こった。さらに平岡が、渾身の涙のシーンがカットになっていたことに触れると、井上監督は「朝陽が出る手前から朝陽が昇り切るシーンの映像があまりにも美しく」とカットした理由を語っていた。

良一が人生の選択をしていく姿が描かれる本作。登壇者の“人生の選択を迫られた瞬間”についてトークが展開されると、栗山は「地元から東京に出てくると決めたときです。大きな決断でした」と回答。平岡は「18歳で芸能界に入るとき会社の部長さんから『お前はなにもない奴だ』と言われたんです。そのとき、一晩中東京を歩いて『一番になる』と決断しました。その瞬間ですかね」とエピソードを披露。井上監督は「瞬間ではないですが、20代後半から30過ぎまで、監督になれるのだろうか」と悩み続けた時期がありました。そして30過ぎのとき『続けよう』と思ったときが選択です」と答えていた。

先が見通せる縁起のいい野菜として知られる「加賀れんこん」にちなみ、栗山と平岡に未来を見通してもらうコーナーも開催。栗山は「映画を観終わってほっこりしている人の顔が見えます」と語ると、平岡は「犬と遊んでいる僕の姿です。明日久しぶりの休みなんです」とほっこり回答。井上監督は「この映画の続編を撮影している姿が見えますね」と希望を込めた発言で会場を沸かせていた。

最後に栗山は「私事になってしまいますが、SNSを1年ぐらい前から初めて、影響力のすごさを実感しています。ぜひ映画が面白いと思ったらつぶやいていただければ」と呼びかけると、平岡も「金沢という場所が主体になって作った映画です。作品を通じて金沢の魅力が全国に伝われば嬉しいです」と語っていた。

【物語】 大学卒業後、大阪・堺市で銀行マンとして働く山田良一にある日、故郷の金沢でれんこん農家を営む母から「父親が脳梗塞で倒れた」と電話が入る。父・竹市が倒れたことにより、畑を引き継ぐか売却か二択を迫られる良一。結婚を考えている恋人のこともあり、なかなか決断できない。戸惑いながらも父に代わって畑へと向かう良一の姿に、不安と苛立ちを募らせる恋人。一方、農林水産省かられんこん農家の視察として神野恵子が金沢へとやって来るのだった――。農業が繋いでいくそれぞれの思いは、どんな結末を見出してくれるのか――。

栗山千明 平岡祐太 大久保麻梨子 木村祐一(特別出演) 永島敏行 綿引勝彦

吉野由志子 柴やすよ 駒木根隆介 小久保寿人 平山祐介

監督：井上昌典 脚本：森脇京子

製作：千口寿子 エグゼクティブプロデューサー：北川淳一 プロデューサー：千口成基 中嶋 等 ラインプロデューサー：山田智也 撮影監督：阪本善尚 照明：奥田祥平 美術：黒川通利 装飾：中込秀志 録音：松本 悟 編集：川瀬 功 音響効果：勝亦さくら 助監督：大脇邦彦 キャスティング：杉野 剛 音楽制作：松竹ショウビズスタジオ 製作：KSCエンターテイメント 制作プロダクション：松竹撮影所 配給：ニチホランド 特別協賛：再生科学研究所 アスカグリーンファーム 協賛：えん家 リンクス 金沢西病院 後援：石川県/金沢市/北國新聞社/富山新聞社/MRO 北陸放送/石川テレビ放送/テレビ金沢/HAB 北陸朝日放送/エフエム石川/FM-N1 宣伝協力：マイナビ農業 ©2020 KSCエンターテイメント tanemaku-tabibito.jp 上映時間：108分

絶賛公開中

<パブリシティ問い合わせ> **MUSA : 03-6262-8166**

篠 (090-1769-9488) shino@musa-c.com / 崔 (080-3271-9249) choi@musa-c.com / 神 (080-1227-2116) jin@musa-c.com / 喜納 (090-1488-3991) kino@musa-c.com

<配給お問合せ> ニチホランド : 03-6883-9876 / 配給協力：トリプルアップ 03-3505-0453